

『「人それぞれ」がさみしい～「やさしく・冷たい」人間関係を考える～』

「人それぞれ」

ありふれているこのフレーズにいつも引っ掛かりながらも使っていた時、この本に出会いました。この言葉は、多様性を受け入れているように見えますが、人との距離をうまく取るためにあるような冷たい感覚に襲われます。この感覚の謎を社会学の視点から解き明かしてくれるのがこの本です。現代社会では、過剰に気遣い、崩れぬよう均衡を保つ人間関係になりがちで、心を疲弊させます。迷惑をかけないように自らを律することはもちろん大切です。しかし、それ以上にお互いに迷惑をかけつつも、それを笑って受け入れられるつながりの方が大切で、これがホッとする人間関係を生むのだと気付かされます。

現代文が苦手な人にも勉強になって一石二鳥ですよ。



『「人それぞれ」がさみしい～「やさしく・冷たい」人間関係を考える～』

石田光規／筑摩書房／ISBN：978-4-480-68417-2